# #彩の国けんけつ NEWS!! 14号 ~2023 夏号~



こんにちは!

埼玉県立常盤高等学校 看護科 JRC (青少年赤十字) 部です! 常盤高校は、看護師を育成する5年一貫の専門学校です♪

未来の看護師である私たちから、埼玉県民の皆さんへ献血情報を送ります。

### 〇テーマ: 献血の歴史と経済



2018年

献血された血液が、 輸血を必要とする人の元に届けられるまでには、 様々な段階があって、多様な費用がかかってるっち! 費用は、医療機関からの対価(薬価)で、 成り立っているっち! 詳しくは右の図をみるっちよ!



時代	日本の献血事業の歩み
1952年	日本赤十字社血液銀行東京業務所が開設 →血液事業のスタート!  「民間商業血液銀行による 売血が盛んになる。 か輸血の供給源を売血者に頼るように。  「日本赤十字社血液銀行による 売血が盛んになる。 ない人たちも多く、赤血球が回復しないうちにまた売血してしまうことで、その血液は輸血しても効果が少ないものが多かった。
1961年	<b>日赤移動採血車第1号</b> が配備される。同年9月1日から運行を開始。
	→ <u>今ある「献血バス」の始まり!!</u> <u>預血制度</u> : あらかじめ健康な時に血液を預けておき、本人や家族などに輸血が必要となったときに払い戻しを受ける方法の事。
1969年	民間商業血液銀行は、売血による輸血用保存血液の供給を中止( <u><b>預血制度</b></u> に切替え)。 →輸血の副作用で、病気を発症し、その原因が買(売)血であったことがわかり、社会的問題となったため。
1974年	民間商業血液銀行が <b>預血制度</b> の廃止。 →輸血用血液製剤は、 <u>100%献血で集める体制が確立</u> した。
1982年	「血液無償の原則」に基づく純粋な献血制度への転換。
1991年	献血者の安全性を十分確認し、より多くの献血者の善意が活かされる よう、国により献血の基準が変更される。
2002年	血液事業が新たな <b>法的根拠に基づいた事業としてスタート</b> する。

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」の運用が開始される。

## 献血に関する Q&A

Q1:血液は十分に足りているのですか?

A1: 本格的な少子高齢社会や若年層の献血者不足、

コロナ禍の影響により日本国内で、献血者が減少している現状です。

○2: 献血の際に病気に感染することはないのですか?

A2: 献血に使用する採血針などの器具はすべて滅菌済みの新品で一度しか使いません。 そのため、安心してご協力いただけます。

○3:献血ルームでお菓子を配るのはなぜですか?

A3: 献血をしてくださった方へのサービスです。

また、休憩所でゆったりとした時間を過ごすための処遇品です。

Q4:薬を服用していると、献血はできないのですか?

A4:薬の種類によって献血をご遠慮させていただくことがあります。

例) 抗凝固薬, 抗不整脈, 免疫抑制剤など

他にも服用していても献血できるもの、当日服用しなければ 献血できるものがあるのでこちらを参考にしてみてくださいトラ!! ↓献血可能な薬について

(https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/yamanashi/donation/m2\_01\_02\_kusuri.html)

### 献血ルームってどこにあるの??

#### 埼玉県内 献血ルーム

●大宮献血ルームウエスト

さいたま市大宮区桜木町 2-4-1 DOM PARTIII 5 階・6 階

●川越クレアモール献血ルーム

川越市脇田町 4-2 ドン・キホーテ川越東口店 4 階

●所沢プロペ通り献血ルーム

所沢市日吉町 10-19 Tokorozawa ex 2 階

●熊谷駅献血ルーム

熊谷市筑波 2-112 JR熊谷駅構内



●鴻巣献血ルーム

鴻巣市鴻巣 405-4 埼玉県運転免許センター内

●川口駅献血ルーム

川口市栄町 3-1-24 川口駅東口ビル 3 階

●越谷レイクタウン献血ルーム

越谷レイクタウン 3-1-1 イオンレイクタウン mori 1 階

献血バスが、あなたの街に来るかもしれません!! たくさんの方の献血、待っています♪

#### ~編集後記~

第 14 号もお読みいただきありがとうございます!

埼玉県立常盤高等学校 JRC部×日本赤十字社ということで、日本赤十字社の方とお話をさせていただき、知ら なかったことや疑問に思ったことをまとめました!今までは、新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか献血 に協力しづらい状況でしたが、献血ルームは感染対策ばっちりで皆さんのご協力をお待ちしております。この献 血NEWSは、更なる献血の普及、啓発を目的として発行しています。読んでくださったあなたが、献血につい て、赤十字社について興味を持ち協力したいと思ってくださったならば幸いです。今回の献血 NEWS をお読みい ただいて献血について、赤十字社について気になった方はぜひ赤十字のホームページをチェックしてみてくださ